

# 「Pythonスタートブック」 を出して11年

みんなのPython勉強会 # 69

5/12, 2021

辻真吾 (@tsjshg)

# おまえ、誰よ？

- 辻真吾（つじしんご）
- 大学の研究所に勤めています（バイオ→エネルギー）
  - 応用データサイエンスという分野を作りたい
- 小学生のころ（MSX2）からコンピュータが好き
- 執筆企画は残り1つ（今秋には出せる予定）



<https://gihyo.jp/book/2018/978-4-7741-9643-5>

## この本の歴史

- 「みんなのPython」で有名な柴田淳さんの紹介で技術評論社の青木さんから連絡がくる
- 社内の企画会議
- 執筆開始2008年5月
- 初版出版2010年5月
- 増補改訂版出版2018年4月
- Python3への対応

# 執筆に2年かかった

- はじめての本の執筆
- 張り切りすぎた
  - 辞書型のsetdefaultなど便利で気に入っていた機能紹介を冒頭から並べてしまった
  - 「むずかしい」ということで、5章くらいできたところで冒頭3章完全書き直し

# 書き直した冒頭3章

- 現代のプログラミングは用意された道具を便利に使う
  - 関数とオブジェクト指向
  - 最初は作れる必要はなくても、使いこなせる必要はある
- 道具としての関数とオブジェクト指向の考え方を徹底的にやさしく解説
  - 売上げが伸びた1つの要因か？（と思っています）
- あじの3枚おろしなどたとえ話満載
  - どうしたらいいか半年くらい悩んだ

もう、無理かも

と思ったこともありました

いちばんやさしいパイソンの本

# 完成させるといういるなことがある

- 読者の1人だった阿久津さんが私を探してくれて、Start Python Clubをはじめる
  - (その流れで) Pythonコミュニティと仲良くなれる
- 執筆の依頼をいただく
  - 単著、共著、監修、監訳など計6冊
- この本でプログラミングに入門したという声を多数頂戴
  - なんとかやりきってほんとうに良かったと思う瞬間

ゼロからでも大丈夫!

# 躓くところは？

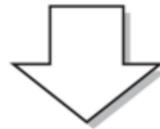
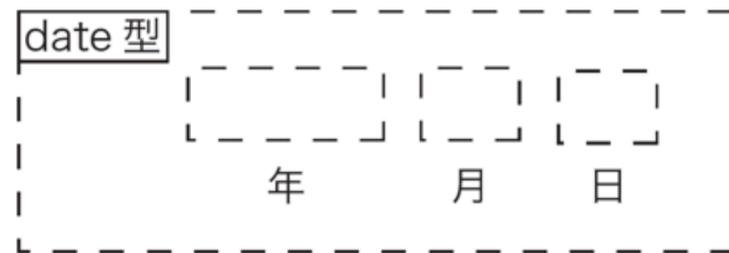
- 9章 新しいデータ型を作る
  - やはりクラスを作るところが難しい
  - メソッドの第1引数selfでインスタンス変数にアクセスするという動作に関する読者質問が多い
- まずはオブジェクト指向を使いこなせることを目指すとよい
  - クラスの良い設計は相当修行を積んだあとでも難儀

# 誰も知らない秘密

図7 ある特定の日を表現するdate型データの作り方

```
datetime.date(2030,4,14)
```

\_\_\_\_\_ 年 月 日  
モジュール名 データ型



3章の図7 インスタンスの生成例

- 3章でdate型オブジェクトのインスタンスを作る話
- 2030年4月14日をdate型で表現するとメソッドweekday()で日曜日だとわかるという流れ
- なぜこの日か？

# 攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX (2002)

- 第1話、少佐こと草薙素子が公安9課長荒巻大輔の部屋を訪れるシーン
- 一瞬映るデジタル時計に AM5:46 30/4/14
- 前日の事件発生から日曜の明け方まで仕事が続いている演出
  - 調べると、はじめて日曜日だとわかる (すごい)
- 11年秘密にしてきました

# まとめ

- 本の執筆はくじけそうになる
- 出版できると、いろいろなことが起こって楽しい
- 関数とオブジェクト指向は、まず使えるようになることを目指そう
  - 次に関数を作れるように
  - 最後にクラス的设计へ
- これからも「Pythonスタートブック」をよろしくお願いいたします